

質問来てた！ 記憶力の向上の方法教えてください！

宮城県仙台第三高等学校 A01班

背景

・記憶力の向上による、質の高い勉強方法を調べたいと思ったので、探究する。

・行動心理学の初頭効果と親近効果から分かることを基に英単語を使って実験を行った。

初頭効果

→最初に覚えた情報が記憶に残りやすいこと

親近効果

→最後に覚えた情報が記憶に残りやすいこと

まとめ

実験結果によって、記憶力とイメージ図によるimpressionには良いシナジーがある事が判明した。つまり、強いimpressionは思い出すことを助けてくれるという事だ。

ただ単語を眺めるだけでなく何かに結び付けたりするといった効果が見込めるだろう。

是非今後活用してください。

グランツァー氏とカニッツ氏の実験

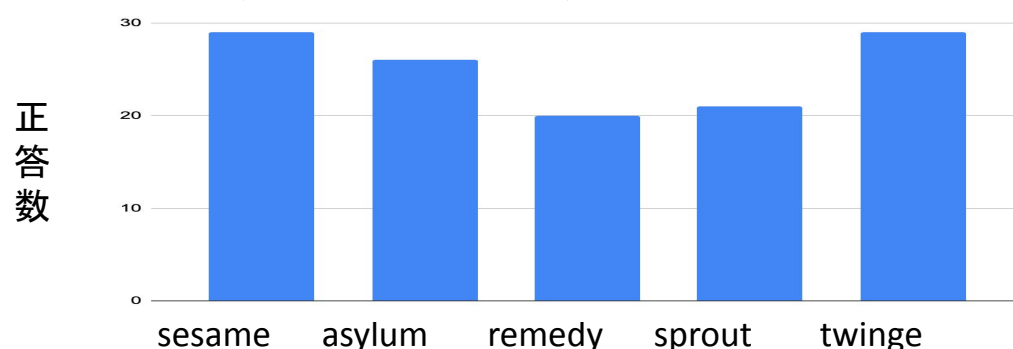
1 被験者をグループa,b,cに分けそれぞれ15個の単語リストを一単語ずつ1秒間表示し2秒ずつの間隔をあけて覚えてもらう

2 単語を覚えてもらったあとグループBは10秒間グループCは30秒間単語と関係のない数字を叫んでもらう

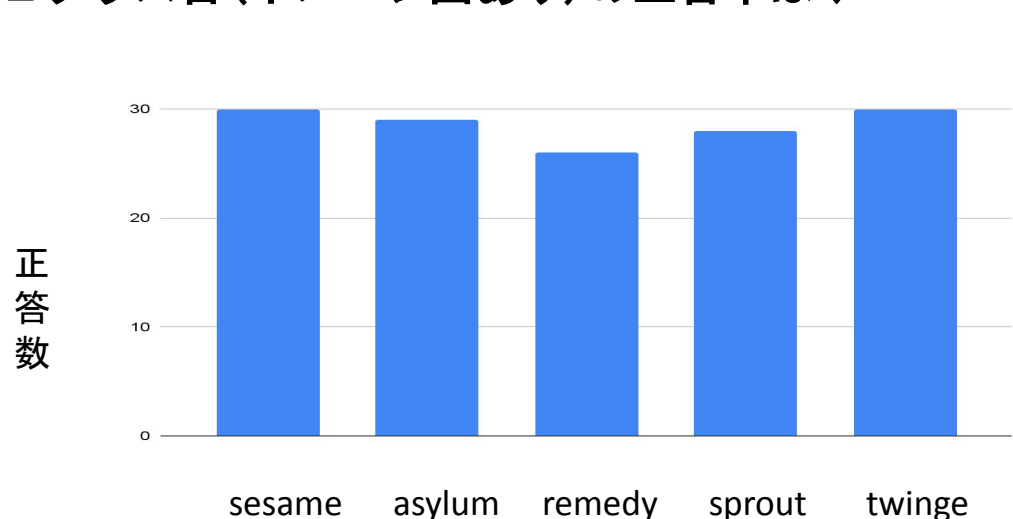
3 最初に覚えた単語を回答してもらう

調査・実験の結果・考察

単語は1問目がsesame 2問目がasylum
3問目がremedy 4問目がsprout 5問目がtwinge
1クラス目(イメージ図なし)の正答率は↓



2クラス目(イメージ図あり)の正答率は↓



2つの結果より

イメージ図をつけることによって真ん中の単語の記憶力を向上させることができるとわかった。

しかし、仮説にあげていた、『最初と最後と同じくらい記憶できる』という事が証明できなかった。

研究内容・目的

目的

・勉強における記憶力の向上

研究内容

・注(1)で、中間の単語の正答率が低いと分かったので、ではその中間の記憶力を上げる為にはどうしたら良いかを調べる

仮説

中間の覚える単語にイメージ図を付けたら最初と最後と同じくらい記憶することができるのではないかと！

調査・実験の方法

1 英単語を5問用意する。

2 1クラスは2、3、4問目にその単語の意味に関するイメージ図を付ける。もう1クラスはイメージ図を付けずに対照実験とする

3 一単語ずつ表示する。一単語の表示時間は1秒とし、2秒ずつの間隔を開けて覚えてもらう

4 これを暗記してもらい、単語の意味を答えてもらう
被験者は60人 1クラスにつき30人
単語のレベルは英検一級レベルとする

参考文献

[系列位置効果とは？仕組みや活用方法をご紹介 | JetB株式会社](#) → グランツァー氏とカニッツ氏の実験 注(1)